

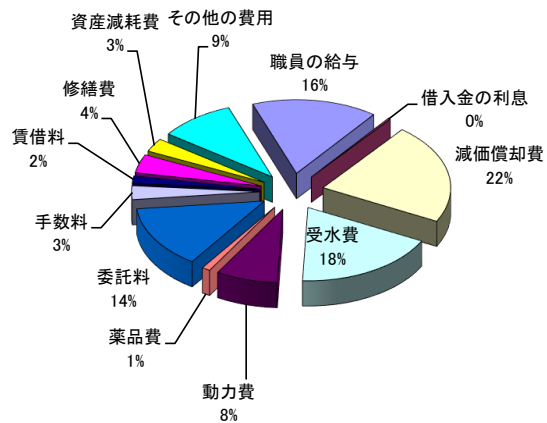
令和4年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。

町議会において、令和4年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	32.86
借入金の利息	0.61
減価償却費	45.48
受水費	37.53
動力費	16.14
薬品費	2.18
委託料	28.58
手数料	6.23
賃借料	3.26
修繕費	8.44
資産減耗費	6.09
その他の費用	19.77
計	207.16

水道水1㎡当たりの費用 207円16銭



収益的収支……水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

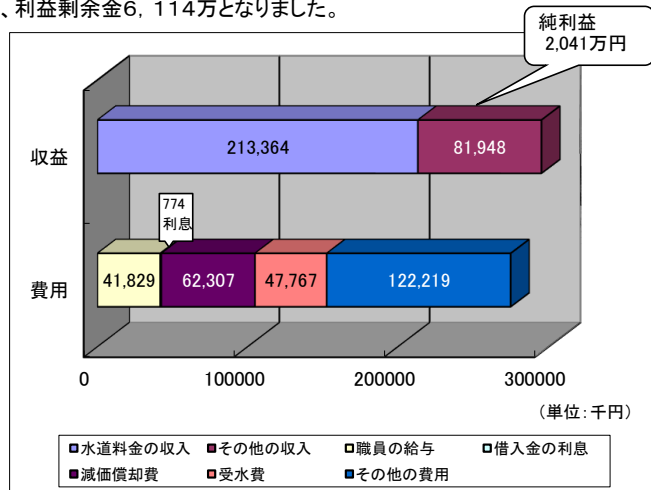
※令和4年度決算においては、2,041万円の純利益となり、利益剰余金6,114万となりました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	213,364,060
	その他の収入	81,947,728
費用(支出)	職員の給与	41,829,174
	借入金の利息	774,625
	減価償却費	62,306,746
	受水費	47,767,243
	その他の費用	122,218,957
	計	207,160,000

※受水費…埼玉県企業局からの県水購入費

※減価償却費…水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

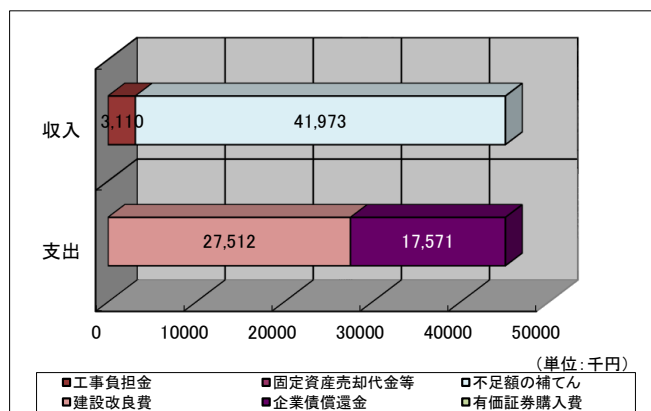
(単位:円)	
収入	295,311,788
支出	274,896,745
純利益	20,415,043



資本的収支……浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	工事負担金	3,110,290
	不足額の補てん	41,972,660
	固定資産売却代金等	0
支出	建設改良費	27,511,537
	企業債償還金	17,571,413
	有価証券購入費	0



令和4年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)	
古池字平畑ヶ地内配水管布設替工事	4,418,700
如意字平松地内配水管布設替工事	3,153,700
上野字台地内配水管布設替工事	2,805,000
津久根字若宮地内給水管布設替工事	990,000
大谷字滝ヶ谷戸地内連合線布設替工事	680,900

有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

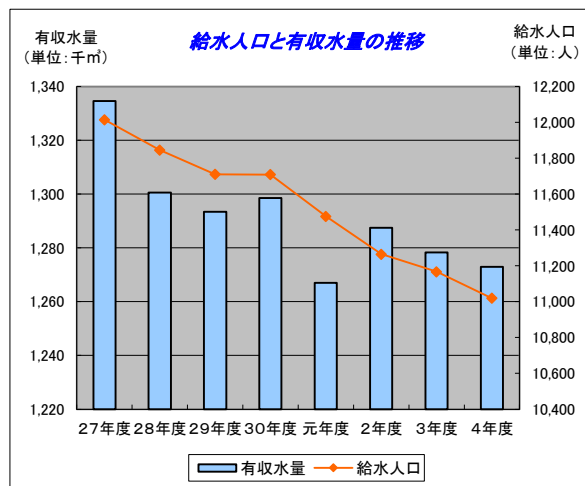
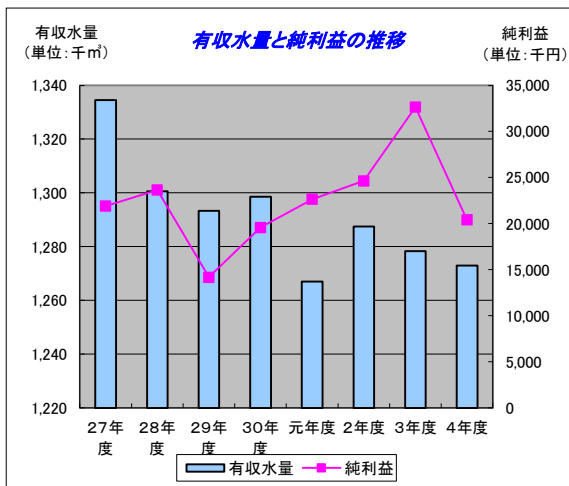
下記のグラフは、過去8年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。

有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しており、令和2年度は微増したが令和3年度、令和4年度と、減少となっております。今後も減少することが予想されます。

一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっていました。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月より料金改定を行い、平成27年度決算から黒字に転じ、令和4年度現在まで黒字となっております。

水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。これからも引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



令和4年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

資産の部		負債の部	
固定資産	1,350,624,913	固定負債	30,835,335
有形固定資産	1,341,844,913	企業債	30,835,335
無形固定資産	8,780,000	流動負債	34,140,613
投資	0	企業債	6,876,630
流動資産	424,045,520	引当金	4,370,000
現金預金	409,449,710	未払金	22,762,607
未収金	9,937,798	預り金	42,463
貯蔵品	4,902,562	前受金	88,913
その他流動資産	△ 244,550	その他流動負債	0
		繰延収益	119,652,185
		長期前受金	459,010,973
		長期前受金収益化累計額	339,358,788
		負債合計	184,628,133
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	376,178,700
		資本剰余金	23,807,410
		利益剰余金	352,371,290
		資本合計	1,590,042,300
資産合計	1,774,670,433	負債・資本合計	1,774,670,433

《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

収入の部		支出の部	
営業収益	228,810,364	営業費用	267,362,633
給水収益	213,364,060	原水及び浄水費	112,179,264
受託工事収益	36,076	配水及び給水費	43,632,162
その他の営業収益	15,410,228	受託工事費	23,971
営業外収益	66,252,353	総係費	41,471,451
受取利息	32,700	減価償却費	62,306,746
他会計補助金	60,483,005	資産減耗費	7,747,639
長期前受金戻入	4,416,067	その他営業費	1,400
雑収益	1,320,581	営業外費用	7,072,336
特別利益	249,071	支払利息	774,625
固定資産売却益	0	雑支出	6,297,711
過年度損益修正益	0	特別損失	461,776
賞与引当金戻入	232,394	固定資産売却損	0
法定福利引当金戻入	16,677	過年度損益修正損	461,776
		支出合計	274,896,745
		当年度純利益	20,415,043
収入合計	295,311,788	合計	295,311,788